

## 1. 自己評価及び外部評価結果

作成日 平成29年3月13日

## 【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4670104506
法人名	有限会社 ドリーム・ミソノ
事業所名	グループホーム 小野の里
所在地	鹿児島県鹿児島市小野2丁目10番18号 (電話) 099-220-7070
自己評価作成日	平成29年2月10日

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL <http://www kaigokouhyou jp/kaigosip/Top do?PCD=46>

## 【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	NPO法人自立支援センターかごしま 福祉サービス評価機構
所在地	鹿児島県鹿児島市星ヶ峯四丁目2番6号
訪問調査日	平成29年2月27日

## 【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

パーソンセンタード・ケアを職員全体で理解し本人様に寄り添った介護で支援しています。ホーム全体が落ち着いた家庭的な雰囲気の中で、のんびりゆっくりと自分のペースで過ごされ、持っている機能や能力を活かし役割を持って生活したり畳をされる方もいらっしゃいます。一緒に活動したり行事で出かけたりすることで表情豊かに生活される入居者様も多く、近隣保育園に出かけたりすると大変喜ばれます。ボランティアや園児の訪問もあり、時には賑やかに生活され地域との交流もあります。

## 【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

- 当ホームの理念は利用者、家族にも理解されるよう玄関やフロアの目に付く場所に掲示し、入居者中心のケア実践に努めている。
- ホーム全体が明るく、温かく、家庭的な雰囲気の中で、入居者1人ひとりが自由に過ごし、生き活きと安心して生活している。
- 母体が医療機関であるため、緊急時もホットラインによる24時間医療連携体制で健康管理をしている。
- 食事は旬の食材を取り入れた献立で、入居者も笑顔で完食し、笑顔で会話している。
- 管理者は、職員との関係性もよく要望等を対処できるよう関わっている。職員も明るく資格取得に向けて自己研鑽している。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>I. 理念に基づく運営</b>					
1	1	○理念の共有と実践  地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員はその理念を共有して実践につなげている	共通理解した上で実践へつなげている。	理念は玄関とフロアに掲示し、フロアの理念は広用紙に書き、利用者や家族にも解りやすい。管理者や職員は申し送り時に理念を確認しケアの実践につなげている。ミーティングで理念に基づくケアについて振り返って支援している。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい  利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	町内会に加入し地域の保育園行事に参加したりホーム行事に来て頂いたりして定期的に交流を図っている。	町内会に加入し、回覧板を入居者と共に届け挨拶を交わしている。地域行事に参加したり、文化祭に作品を出している。保育園での七夕会に参加したり、ホーム行事の敬老会やクリスマス会に地域のボランティアの踊りや歌などが有り、日常的に交流している。	
3		○事業所の力を生かした地域貢献  事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて生かしている。	認知症があるご家族の方の相談や高齢者サービス利用のお手伝いや説明、案内を行っている。入居申し込み時などの相談に多くの時間をとっている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み  運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	行事計画の実施報告や今後の計画報告を常時行っている。御家族様からの要望、困りごと等気軽に発言くださるような雰囲気作りにも努めている。	会議は定期的に開催し、ホームの行事計画や実施状況・入居者の生活状況・外部評価の結果報告等を報告している。参加者のそれぞれの立場から情報提供や相談事の意見が出され、ホームからの情報提供で週3回の訪問マッサージが実施されている。	
5	4	○市町村との連携  市町村担当者と日頃から連携を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる。	市町村主催の研修、勉強会に参加したりして、連携を図っている。	市担当者とはホームの状況を話したり相談をしてアドバイスを受ける等、協力関係にある。生活保護者の件で行政の担当者とは連絡や連携を取っている。市主催の研修会や勉強会にも参加している。	
6	5	○身体拘束をしないケアの実践  代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。	身体拘束委員会を毎月実施しており、身体拘束の知識を深め、職員間で介護の方法を検討しながら、身体拘束をしないケアを心掛けている。	マニュアルを基に毎月ミーティングで資料を提示し、スピーチロック等について勉強会を開催している。日常ケアの中で言葉遣いで気づいたらその場で指導している。日中の玄関の施錠はせずに、外出希望の利用者については常に見守りし、一緒に散歩や行動を共にしている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
7		○虐待の防止の徹底  管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないよう注意を払い、防止に努めている。	虐待防止についての内部研修や全体カンファレンスでも取り上げて虐待防止の理解に努めている。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用  管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。	成年後見制度について内部研修を行い、職員が制度の理解が得られる様に努めている。実際、入居者の中に成年後見制度を利用しておられる方がおられるのでその方を例に話も行っている。		
9		○契約に関する説明と納得  契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。	契約時は重要事項説明書・契約内容と一緒に確認し、説明を行っている。合間や終わりに不明な点がないか確認を行っている。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映  利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。	玄関先に意見箱を設置しており、運営推進会議や面会時にいつでも意見が言えるような雰囲気づくりに努めている。	日頃から利用者と話をする中で思いを聞き、把握している。家族からは面会時や行事参加時を活用し積極的に声かけし、意見を聞くようにしている。月1回のホーム便り等を郵送し、FAXや電話で意見や要望を聞く機会を設けている。意見箱の設置もしている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	○運営に関する職員意見の反映  代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。	カンファレンス時に職員の意見を聞いたり、必要時には個人面談を行っている。	管理者は月1回の合同ミーティングやユニット会議・申し送りなどで提案や意見を聞き、代表者に報告し了解を得て実践している。積極的に職員に声かけし情報等を得ている。薬の飲み方の提案があり、話し合いをして改善する等、サービスに反映している。	
12		○就業環境の整備  代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働くよう職場環境・条件の整備に努めている。	職員の資格取得に向けた支援を行い、取得後は労働条件・給与に反映させている。		
13		○職員を育てる取り組み  代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	外部研修の紹介し、研修を受ける機会を設けている。内部研修も年間行事計画に入れ込んでおり、研修へ参加出来なかった職員へも報告書を回覧している。		
14		○同業者との交流を通じた向上  代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	関連事業所・他事業所との研修にて意見交換を行うなど、交流する機会を設けている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
15		○初期に築く本人との信頼関係  サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	入居前や入居時に本人様、御家族を交えアセスメントを十分に行い、安心して頂ける様なサービスを提供して良い関係作りが出来る様に努めている。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係  サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	入居前の見学・申し込みの際にご家族から不安などの意見を聞き、入居時からのケアプランも説明して関係作りに努めている。		
17		○初期対応の見極めと支援  サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	入居者の状況を必要と思われるサービスについては、ホームで現在、利用しているサービスの説明を行い、御本人、御家族からそのサービスを利用したいとの申し出がある際には紹介等を行っている。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係  職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	その入居者様の状態にあわせて一緒に掃除をしたり、日常生活でのお手伝いもスタッフと一緒にしている。食事やお茶も職員と一緒に取り和やかな雰囲気作りを心掛けている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
19		○本人と共に支え合う家族との関係  職員は、家族を介護される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	面会時は必ず入居者様の近況をお伝えし、随時、御家族様からの要望も伺っている。毎月発送している便りにもその月の行事の様子を写真撮影したものを掲載している。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援  本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	毎週、礼拝に出掛けられる入居者様もおられる。御家族様にはいつでも外出や外泊して下さってよい事も説明し理解を頂いている。	友人や家族の面会が多く、居室やフロアのソファーでゆっくりコミュニケーションを図ったりしている。訪問理美容や馴染みの所へドライブするなど関係継続の支援に努めている。家族の協力を得て美容室や墓参り・買い物に出かけたり、自宅に外泊している。	
21		○利用者同士の関係の支援  利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	利用者様同士が良好な関係が保てる様な環境づくりに心掛けている。日光浴が出来る様にリフアーや椅子を設置している。トラブルになりそうな場面時は速やかにスタッフが間に入り円滑な関係性が保てる様支援を行っている。		
22		○関係を断ち切らない取り組み  サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	他のサービスの情報を提供したり、次の施設や病院に入られた後でも見舞いに行ったり、もし亡くなられた場合にはお通夜にも寄せて頂いている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>III. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
23	9	○思いや意向の把握  一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	ケアプラン作成時等に本人様、御家族様の意向を伺い支援に生かしている。必要時、ミカソファレスを開催し本人本位の支援の検討を行っている。	本人との会話の中から希望や意向を聞き、日々の表情や動作などから思いや意向の把握に努めている。面会時に家族から情報を得て、職員間で意見を出し合い本人本位に検討している。	
24		○これまでの暮らしの把握  一人ひとりの生活暦や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入居前に入居者様、御家族よりアセスメントを行い、新しい環境に戸惑う事が無い様に馴染みの品物、家具等も搬入して頂き、落ち着ける環境づくりを心掛けている。		
25		○暮らしの現状の把握  一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	十分な情報収集を行った上で、入居者一人ひとりに合った過ごし方が出来る様、スタッフも十分把握しながら支援を行っている。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング  本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイディアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	毎月のミーティングで入居者一人一人の現状、課題の検討を行っている。	本人や家族の意見を基に主治医や職員と話し合い介護計画を作成している。モニタリングは毎月行い、短期目標の達成度で介護の見直しをしている。変化がない場合は6ヶ月に1回の見直しを行い、状況に変化がある場合はその都度変更している。家族に説明し捺印をもらっている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		<p>○個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている</p>	ミニカンファレンスで話し合ったことを夜勤者に申し送り、他職員にも周知を行っている。介護記録にも気づきや工夫の記入を行い、職員間で共有を行っている。		
28		<p>○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</p> <p>本人や家族の状況、その時に生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる</p>	個々の状況に応じて柔軟に応じて柔軟な対応を行っている。		
29		<p>○地域資源との協働</p> <p>一人ひとりの暮らし方を支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を發揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している</p>	町内会や近隣保育園との交流を図っている。		
30	11	<p>○かかりつけ医の受診支援</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	かかりつけ医は入居時に御本人、御家族の要望を伺いムーズに受診、又は往診が出来る様連携を図っている。	本人・家族の希望するかかりつけ医の受診を支援している。母体医療機関への受診は職員同伴で定期的に月1回行っている。眼科は家族同伴、歯科は希望で往診もある。結果は介護記録に記入し、家族に報告している。24時間医療連携体制で、適切な医療が受けられるように支援している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		<p>○看護職員との協働 介護職員は、日常生活の中でのりえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している。</p>	毎日、バーソル測定を行い身体状況の把握を行っている。入居者様の日頃の表情や些細な変化にも早急に対応できる様心掛け、定期受診や往診の際に報告・相談をしている。		
32		<p>○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。</p>	入院先やご家族へ状況の確認を電話で行い、退院時には病院側からしっかりと情報を得、退院後の対応などを相談している。		
33	12	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人や家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p>	契約時、重度化、終末期についての説明を行っているが、重度化や終末期になった時点でもその都度、御家族の意向や主治医からの意見も伺いながら支援を行っている。	重度化や終末期におけるマニュアルが有り契約時に家族に説明を行っている。経口摂取可能を基本とし看取りはしていない。段階的に家族の意向や主治医の意見をもとに方針を共有し必要時、医療機関受診や搬送などの支援を行っている。	
34		<p>○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、すべての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている</p>	研修や消防訓練時に取り入れている。緊急時マニアルの作成も行っており、何時でも見れる場所に置いている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
35	13	○災害対策  火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	年2回の避難訓練を実施しており、地震、風水害に関しても訓練も行っている。	年2回昼夜間想定で避難訓練を行っている。そのうち1回は消防署の指導を受けて地震や風水害訓練を実施している。川の氾濫状況を監視し、利用者を1階から2階へ誘導したり、毛布や布団などを使用して移動している。非常食として、水や軽食・缶詰等を備蓄している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
36	14	<p>○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保</p> <p>一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている</p>	<p>人生の先輩として敬い言葉掛けで接し、本人様の意思を尊重しながら支援を行う様努めている。</p>	<p>人格の尊重とプライバシーの確保に関するマニュアルを基に毎月のミーティングで言葉かけや対応について研修を行っている。入室時は必ずノックすることやトイレ誘導時の声かけ、入浴支援で恐怖心を与えないように、個々に応じて対応を工夫している。選択する場面では決定しやすい声かけをしている。</p>	
37		<p>○利用者の希望の表出や自己決定の支援</p> <p>日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている</p>	<p>日常生活での会話の中で、その方の思いや希望を探ったり、入居者様一人ひとりが自己決定できる様な場面を提供できる様に努めている。</p>		
38		<p>○日々のその人らしい暮らし</p> <p>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している</p>	<p>個々のペースにあわせてその日の体調や気持ちに配慮しながら支援を行っている。</p>		
39		<p>○身だしなみやおしゃれの支援</p> <p>その人らしい身だしなみやおしゃれができるよう支援している</p>	<p>季節毎に衣類の入れ替えを行っている。御家族にも随時、衣類の購入依頼を行っている。定期的に移動美容室も利用している。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
40	15	○食事を楽しむことのできる支援  食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	行事毎で特別メニューを用意したり、季節の食材を取り入れている。又、入居様のリクエストにも応じた献立も提供している。可能な入居者にはお盆や箸を並べてもらっている。	入所時に嗜好調査やアレルギーの調査をしている。前日に献立を作成し彩りを考え盛りつけしている。全員完食している。食事形態にも留意し、個々の力量に応じてもやしの下処理や下膳など職員と一緒にしている。節分の恵方巻、ハロウィン等の行事食、リフト車で行く年1回の外食など、楽しむことができる支援をしている。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援  食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	個々に合わせて、食事量や食事形態を把握し食器や食べ方を工夫して提供している。個々の嗜好を理解し提供するようにしている。		
42		○口腔内の清潔保持  口の中の臭いや汚れが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	食後の口腔ケア時、個々の能力を把握し必要に応じて介助したりし、自立の方も含め口腔内の状況観察に努める。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
43	16	○排泄の自立支援  排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	自尊心に配慮し、個々の身体機能に応じて支援をし、できる限りトイレでの排泄ができるように支援している。排泄能力、個々の排泄パターンの把握に努め、できる限りトイレでの排泄ができるように支援している。	排泄チェック表で排泄パターンを把握し、食事や入浴前後などに声かけを工夫してトイレ誘導している。日中はリハビリパンツにパット、紙オムツ、布パンツなどを使用し、夜間のみポータブルトイレを使用など、多様であり、車椅子の人もいるが、個々人に応じて立位を意識して自立に向けた支援を行い、トイレでの排泄を支援している。	
44		○便秘の予防と対応  便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	日々の食事の中に食物繊維を含む食材を取り入れたり、水分を多く摂って頂ける機会を作り水分量を確保し、通常の生活に便秘予防を取り入れるようにしている。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援  一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援している	時間はなるべく希望に沿うようにし、週2回以上の入浴を心がけている。また、時間は午前から夕方までお願いしている。	週2回以上の入浴であるが、恐怖心や羞恥心に考慮し、希望に応じて同性介助での支援をしている。入浴拒否がある場合は時間をずらしたり、順番を変更したり、体を拭き更衣する支援もしている。	
46		○安眠や休息の支援  一人ひとりの生活習慣やその時々の状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	夜間、安眠ができるよう日中の活動を積極的に取り、生活リズムを確保することに努めているが適度な運動の提供が難し。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
47		○服薬支援  一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	Drや薬剤師から説明を受けて目的や副作用について聞きカルテに薬の説明書を綴り毎回確認している。変更等ある際は申し送りをして伝達している。		
48		○役割、楽しみごとの支援  張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活暦や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	本人ができる事やしたいことを職員が理解し時間がかかってもして頂いている。行為を褒める言葉を入れ意欲を継続できるよう支援していく。		
49	18	○日常的な外出支援  一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるように支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。	歩行が難しい方でも車椅子や車を使用し一緒に行事等に出掛け戸外でお弁当を食べたり外食している。外出の希望があればご家族の協力を頂き個別でも出かけて頂いている。	日常的には近隣の散歩や外気浴を楽しんでいる。年間計画を立てて関連施設のリフト車で、コスモスの花見にお弁当を持って出かけたり、外食に行ったりしている。家族の協力を得て外出や外泊・買い物など個別で出かけている。	
50		○お金の所持や使うことの支援  職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	紛失などのトラブルがないようにホームでお小遣いとして預かっており、希望がある方には支払いなどして頂いている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		○電話や手紙の支援  家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している	電話はいつでも繋いだりかけたりできるよう支援している。またお手紙なども届いた際はお渡しし喜ばれる。		
52	19	○居心地のよい共用空間づくり  共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱を招くような刺激（音、光、色、広さ、湿度など）がないように配慮し、生活感や季節感を探り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	食堂横の和室でゆっくりくつろげるようソファーや座椅子を置き、ホールや廊下には季節感を感じられる飾りを付けたり花を生けている。また冬は加湿器などを各所に置きエアコンとあわせ適温になるよう調整している。	共用空間は明るくて広く、採光もよく、エアコンや加湿器で温湿度も調整されている。畳の空間もありテレビを見て楽しんでいる。ソファーや座椅子などが置かれ、季節の花が活けられ、廊下には雛人形のぬりえが掲示され、居心地よく過ごせるよう工夫されている。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり  共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	お食事の時以外は座席を固定せず自由に座って頂いており、共有空間で個々がテレビを観たりレクレーションを楽しんだりを好きな場所で行っている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮  居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	ご家族に協力をもらい使い慣れた家具の持ち込みをお願いし本人様の写真や作品を張ったりして個々が過ごしやすい部屋になるように工夫している。	居室にはベットやエアコン・布団一式が備え付けである。家族の写真やぬいぐるみ・時計・ドレッサーの上には化粧品やクリーム・タンス・犬の作品集・テーブルと椅子・使い慣れたポータブルトイレなどが持ち込まれ、生活状況に応じて配置され、居心地よく過ごせるよう工夫されている。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり  建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	手摺を利用して頂くよう声掛けし廊下に障害物を置かないようにしている。本人が理解できるような表示の仕方や声掛けにも工夫を行いながら支援している。		

## V アウトカム項目

			1 ほぼ全ての利用者の
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	●	2 利用者の2/3くらいの
			3 利用者の1/3くらいの
			4 ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	●	1 毎日ある
			2 数日に1回程度ある
			3 たまにある
			4 ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	●	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿が見られている。 (参考項目：36, 37)		1 ほぼ全ての利用者が
		●	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどない

			1 ほぼ全ての利用者が
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目 : 49)		2 利用者の2/3くらいが
		●	3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目 : 30, 31)	●	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
62	利用者は、その時々の状況や要望に応じた柔軟な支援により安心して暮らしている。 (参考項目 : 28)		1 ほぼ全ての利用者が
		●	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目 : 9, 10, 19)	●	1 ほぼ全ての家族と
			2 家族の2/3くらいと
			3 家族の1/3くらいと
			4 ほとんどできていない

64	<p>通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。          (参考項目 : 9, 10, 19)</p>		<p>1 ほぼ毎日のように          2 数日に1回程度ある  <input checked="" type="radio"/> 3 たまに          4 ほとんどない</p>
65	<p>運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。          (参考項目 : 4)</p>		<p>1 大いに増えている          2 少しずつ増えている  <input checked="" type="radio"/> 3 あまり増えていない          4 全くいない</p>
66	<p>職員は、活き活きと働けている。          (参考項目 : 11, 12)</p>		<p>1 ほぼ全ての職員が  <input checked="" type="radio"/> 2 職員の2/3くらいが          3 職員の1/3くらいが          4 ほとんどない</p>
67	<p>職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。</p>		<p>1 ほぼ全ての利用者が  <input checked="" type="radio"/> 2 利用者の2/3くらいが          3 利用者の1/3くらいが          4 ほとんどない</p>
68	<p>職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。</p>		<p>1 ほぼ全ての家族等が  <input checked="" type="radio"/> 2 家族等の2/3くらいが          3 家族等の1/3くらいが          4 ほとんどない</p>